【 安全運航への取り組みについて 】

桧原湖観光船では、お客様に安全で快適なクルーズをお楽しみいただくために、以下のような取り組みを行っております。

1．安全に係る設備

●救命設備

ばんだい丸：救命胴衣 21　救命浮器 12　救命浮環 2

あづま丸：救命胴衣 31　救命浮器 14　救命浮環 2

を搭載

●無線設備

業務用無線を搭載し、陸上との定期連絡・気象情報の共有

2．出航の判断について

運航管理者及び船長は適時、運航の可否判断を行い気象・水象が一定の条件に達したと認めるとき又は達する恐れのある時は、運航中止の措置を取らなければならない。

運航中止の措置をとるべき気象・水象については、当社「安全管理規程」に従い以下に定めるものとする。

風速　10m/s 以上	波高　1m 以上	視程　300m 以下

※ 船長が危険と判断したときは、この基準に達していなくても運航を中止する場合がある。

3．運航前点検について

●運航開始前に船体及び機関の点検を実施、記録簿に記入

●アルコールチェックによる呼気確認を始業前に実施、記録簿に記入

4．安全に係る設備について

●救命設備

・救命胴衣、救命浮環、救命浮器の搭載

・救命胴衣の設置場所及び着用方法を船内に掲示、船内アナウンスでの周知

●通信設備

・業務用無線機を備えており、航路での定点連絡に加え、気象状況等の報告を実施

・緊急時の連絡手段として業務用無線を使用、非常連絡網の備えあり

5. 安全統括管理者及び運航管理者について

安全統括管理者　　2021 年 4 月 1 日選任
運航管理者　　2021 年 4 月 1 日選任

6. 損害賠償保険について

●日本定航保全（船客傷害賠償責任保険）に加入

限 度 額 ： 1 名あたり 3,000 万円
1 事故あたり　3,000 万円×船客定員数もしくは 600 億円のいずれか低い額
保険期間 ： 2024 年 4 月 1 日～11 月 30 日（毎年更新）
※ 来年度更新時より、1 億円に引き上げ予定

7. 船舶検査の受検状況

●東北運輸局による中間検査（1 年に 1 回）、定期検査（5 年に 1 回）の実施

直近の受検日
あ づ ま 丸 ： 2024 年 4 月実施
ばんだい丸 ： 2024 年 5 月実施

8. その他自主的な取り組みについて

●安全総点検など、毎年の自主点検を実施
●定期的な避難訓練や、安全に関する知識向上のための社内研修を実施
●安全統括管理者・運航管理者研修会、東北旅客船協会主催の乗組員研修会への参加

9. 安全方針

●当社は関係法令及び社内規程を遵守します。
●当社は安全最優先の原則を徹底します。
●当社は安全マネジメント態勢の継続的改善を図ります。

10. 2025 年度の「安全重点施策」

（1）安全運航に関する教育、研修の場として、社内ミーティングを毎月実施します。
（2）PDCA サイクルが機能しているか毎月見直し、改善と意識の高揚を図ります。
（3）事故処理に関する訓練を年 1 回実施、非常時における対応力の向上と防災意識の高揚を図ります。
（4）経営管理部門と乗組員とのコミュニケーションの確保に努めると共に安全方針について理解度、浸透度の把握を行います。

11．2024 年度の「安全重点施策」と「達成状況」

（1）安全運航に関する教育、研修の場として、社内ミーティングを毎月実施します。

（2）PDCA サイクルが機能しているか毎月見直し、改善と意識の高揚を図ります。

（3）事故処理に関する訓練を年 1 回実施、非常時における対応力の向上と防災意識の高揚を図ります。

（4）経営管理部門と乗組員とのコミュニケーションの確保に努めると共に安全方針について理解度、浸透度の把握を行います。

→　**各実施及び達成いたしました**

12.過去の事故件数

2024　　0 件

2023　　0 件

2022　　0 件

2021　　0 件